

# 龍 灯

## 第 1 5 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所  
 霊 亀 山 九 島 禅 院  
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18  
 ☎06-583-2725  
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

# 「出張ホスト詐欺」

## 無欲な人は詐欺にかからない

美人局と書いて何と読みますか。「つつもたせ」といって、鼻の下の長い紳士が、売春目的の誘いを受け、ホテルに入ったところ、こわいお兄さんがやって来て、金品を脅し取る手口の犯罪のことです。その新手的美人局が、今話題の「出張ホスト詐欺」です。

それは、或るテレビのニュース番組への一通の投書から、明らかとなりました。「出張ホスト詐欺」は、報道されるや全国から続々と被害者が現れ警視庁も捜査に乗り出しました。その手口は、「月収六十万円以上可能」、「さみしい淑女をやさしくリードして」、「など甘い広告で世の男性を誘い」、「出張ホストクラブ」に入会させ、入金、保証金の名目で、六十万円、八十万円を先払いさせ、女性を紹介するが、難クセをつけて契約解除のあけく、ホストの責任にし返金せず、先払いの金銭に加え、損害賠償まで請求されるということなのです。

女と金という男の弱点を利用し、被害者も騙されたことに気づかない。まことに完全犯罪を狙った、実に悪質な詐欺商法だといえます。

被害者？の会が結成され、弁護団が把握しているだけでも、被害者？数は全国に約三百名、一千万円以上も騙し取られた例もあるといえます。

悪質な詐欺師にかかると、たいていの人はだまされてしまいます。しかも、今回は女と金という男の弱点を利用した詐欺です。被害者が騙されたことに気づかず、警察に訴えないケースもあるようです。いつもこの種の報道に接した時には思うのですが、やはりだまされた人にも責任があるように思えてなりません。欲が強すぎて詐欺にひっかかったのではないのでしょうか。仏教では、つねに「少欲知足（しょうよくちそく）」の精神を教えています。「欲望を無際限にふくらませずにはいけない。

**全国男子 エスコート 大募集!!**

高収入確実・日払!!  
 完全予約制・入金無!!

- 年令・経験・容姿不問
- 希望の地域でサイドビジネス!!

▶ 秘密厳守 ◀

24時間受付中  
 ☎03-3352-37

高級レジャークラブ  
**フレンドシップ東京**

貴男への女性から  
 ハイクラスな  
 アプローチ!!

※女性の募集へ  
 ● エスコートクラブ  
 ● フレンドシップ東京  
 ● アパート・マンション  
 ● 高級ホテル・レストラン  
 ● 高級クラブ・ナイトクラブ  
 ● 高級ホテル・リゾート  
 ● 高級マンション・ビル  
 ● 高級ホテル・リゾート  
 ● 高級マンション・ビル

足るを知る、これで充分だ、と満足できる精神をもて」と言っています。いつも、ガツガツと欲望をひけらかすのは、畜生であり、餓鬼であると教えているのです。

人間なら、もっと人間らしいゆとりを大事にしたいものです。私たちは、もう一度身のまわりをみまわして「これで十分だ」という満足感を見つける必要があります。

江戸時代の禅僧に盤珪（ばんけい）禅師がおられます。彼の語録に次のような話が載っています。

盤珪禅師のもとに、在る時、鑄物師の信者が相談にやってきました。

「自分がつくった鍋や釜は十のうち八つも穴があいています。それを、自分は無キズだと言っ



檀信徒の皆さまへ

○古黄檗(祖山) 再建募財のお願い

宗祖隠元禪師御生誕四百年慶讃大法要も、大本山萬福寺において、各位の御法愛により、平成四年秋に無魔円成しました。

大本山萬福寺は宗祖隠元禪師がいられた中国福建省福清にある萬福寺(古黄檗、祖山)を、宇治にそっくりそのまま建立したものです。しかし、中国福建省にある黄檗山萬福寺は、昭和初期に山津波で伽藍が流され、荒廃し廃寺寸前の状態です。私も黄檗宗の祖山として痛惜の念を禁じえません。

この度、中国国務院や福建省仏教協会などが『黄檗山萬福寺修復委員会』を組織し、国家事業としての復興が決定しました。しかし、中国経済のインフレがひどく、当初予算では足らな

てなりません。やはり、わるいことをしているのでしょうか。―もちろん悪である。と普通の人は答えるところですが、さすがに禅僧はちがいます。盤珪禪師は、答える前に鑄物師にむかって質問をされています。

―それは、おまえだけがやっていることか。・・?

―いいえ、天下の鑄物師はたいてい、そうやっています。―

―夜中に売っているのか?―

―いいえ、白昼に売っています。―

―じゃあ、まあいいだろう。買うほうだって目があるのだからキズ物無キズと言っている。―

―夜中に売るのであれば問題だが、白昼のことであれば、買わないほうもキズを見つけたら買わないであろう。あまり心配することはなからう。―

―これでは、盤珪禪師、一見してインチキを公認しておられるように思えます。でも、

よく考えてみれば、買ったほうだって責任はあるのです。その責任は棚上げにしておいて、売ったほうばかりを一方的に責める。有名ブランドのニセモノを安い値段で買った人は、―安さ―に目をくらまされたわけですが、そのことはずいぶん忘れてしまっている。そんな現代人を、盤珪禪師はたしなめておられるのだと思えます。

欲にまかせて突っ走ること

これは、仏教でいう「餓鬼道」そのものです。どうすればいいのでしょうか。

―少欲知足(欲望を少なくして足るを知る)こと。―

―足安分(足るを知り、分に安ずる精神)。―

―言うならば、『精神的腹八分主義』こそ大事なのではないのでしょうか。そうガツガツせず、もうこれだけで十分ですと、欲望に限りをつけて、少しはのんびりとやってみませんか。



隠元堂建設予定地より全山を望む

黄檗山中国祭り見学と  
団体バス参拝のご案内

10月16日(日)  
募集人員 40名

※お寺まで、お問い合わせ下さい※

当日、大本山萬福寺では、華僑の普度勝会(お盆法要)が行われます。蛇おどりなども繰り出します。山門を出れば日本ぞ茶摘み唄』俳句そのまも異国情緒をお楽しみください。本山高僧の法話



いということ、各国の華僑や日本の大本山にも募財要請がありました。日本のある方が千八百万元の私財を投じて、隠元堂（写真）を建立されています。募財目標額は三千万円です。

金額の多寡は問いません。ご懇志の頂けるお方がありますれば、お寺までお申し出下さい。

○除災・福達磨おみくじ

この度『除災・福だるまおみくじ』を作りました。本堂前においてありますのでご参詣の記念にお求め下さい。三百円です。

## 中外日報（平成六年四月三十日付）より転載

### この人



奥田行朗前管長のあとを承けて、この四月一日に黄檗山万福寺の第五十九代に就任した。

管長就任に当たって、臨済正宗の挙揚を強く打ち出した。「黄檗宗の特徴のように言われる、念仏禅」については宗門内外に誤解がある。立宗の根底はあくまでも坐禅。臨済正宗の本義は坐禅に、さらには臨済禅師に、そして坐禅に戻ることにある。

江戸時代初期（承応三年（一六五四）に來日した隠元隆琦を宗祖とする黄檗宗は、寺院建築や法式梵唄などに中国的伝統を色濃く残す宗門である。しかし、黄檗宗の本

来の名乗りであった、臨済正宗（正伝）の称は今日、あまり使われることがない。しかし、この名乗りこそ、隠元禅師が当時の臨済宗、さらには曹洞宗にある意味で決定的な影響を与えた理由が隠されている。

ようになったのは、実は明治に入ってから、廃仏毀釈で宗門が経済的危機に瀕したのち、林道永禅師の『在家安心法語』がきっかけという。

このことを林管長は指摘し、念仏禅、という言葉がとすれば与えがちな、禅と浄土の融合といったイメージを払拭して、宗門の本義に戻るよう呼びかける。その目指すところをひとことと言え

「取捨選択については宗務当局に方針があるだろうが、一箇半箇を打ち出すために、言いたいことはほとんど言わせてもらう」

「柳田聖山教授が書いておられるが、隠元禅師が日本に渡ってくる前は、臨済宗では『臨済録』をそれほど大切に

せず、雲衲の接得には『碧巖録』を使っていた。ところが、隠元禅師が『臨済録』を強く打ち出し、その刺激で臨済宗も『臨済録』を重視するようになった。臨済禅中興の祖白隠禅師もこうした流れの上に

「鈴木老師は韓国人で、ただ一人日本に渡って、朝鮮に対する偏見のなかで苦勞して修行された。私にはとても真似ができない。今の自分があるのも老師の陰徳のおかげと

「大学時代の恩師、飯田利行先生や妙心寺派の竹中玄鼎前宗務総長からも『臨済正宗の旗印を掲げて頑張ってください』という手紙を頂きました」と顔をほころばせた。

## 清新な禅風挙揚へ意欲

「叱々と独りで坐禅に勤しむ風流」だ。

大正十一年生まれ、七十二歳。駒沢大学在学中から、曹洞宗の澤木興道和尚の指導を受けた。「澤木老師は地位も名譽も一切放下した方でした。宿なし興道」といわれた澤木和尚の思い出を語る口ぶりから、その心酔の深さが今も伝わってくる。

住職として入った圓通寺（北九州・小倉）は一軒の檀家、信者もない廃寺。「爾來二十二年間、托鉢とは切っても切れない生活が続いた」と著書『禅心の軌跡』には記されている。そのなかで、各地

「京都総本社・津村歴史記者）

古も黄檗の影響があるといわれています」

黄檗で念仏禅が喧伝される

今も伝わってくる。

（京都総本社・津村歴史記者）



# 奉納抄

鰐口(わにぐち) 寄進

(平成六年春彼岸)

本堂正面に鰐口を吊るしました。中村様より、逝去されたお父様のご冥福を祈り、鰐口が寄進されました。神社では鈴、寺院には鰐口を、礼拝時に鳴らします。気持ちをお替え、清浄な気分でお参り下さい。厚く御礼申し上げます。

## ● 優曇華の花 ○

お墓掃除の南谷さんに、『おっさん、珍しいものが咲いてる。生まれてこの方、二度しか見たことがない』と言われました。何事かと、駆けつくと、鉢植えのりんごの木の一つの枝に、ごま粒大の虫の卵がたくさん、まるで、かすみ草のように花咲いていました。

南谷さんが言うには、『これは、優曇華(うどんげ)の花といって、非常にめずらしく、この花が咲くと、とてもよいことか、さもなくて、よくないことがおこる。不吉にならないために、道を通るひと千人に見てもらおうそうよ。』とのことでした。

家内に話したところ、『そういえば、二三年前にも夾竹桃についていたよ』とのことでした。当院もここ数年はよいことが続き、悲願の復興も成りました。

優曇華、詳しくは優曇波羅花といい、梵語ウドンバラ(無果実一いちじくの種類)を音写し華の字を加えたものです。花は三千年に一度咲くといわれ、法華経に『仏にあいたてまつること難きこと、優曇波羅の華の如し。』とあり、輪廻転生(地獄、餓鬼畜生、修羅、人、天の六道世界を生まれ変わっている)の中で、人間に生まれることはめったに出会うチャンスだ、ましてや人間に生まれて、仏に出会う機会は少ないとお経は説いています。私たちは、せっかく人間に生まれたこのチャンスを大事にし、一度しかない人生を大切に生きなければなりません。もの本で調べたところ、冒頭の優曇華の花は、草カゲロウの卵を称して呼び、吉凶の前兆とすることがあるそうです。

五月二十五日夜、居候(当院に住み着いた雄犬)を散歩しているとき、大通りの交差点のなかで、こけてしまい、右腕の筋をねじらせ、いまだに痛くて不自由しています。やはり、かの吉凶はあたっていいのかと、感心しています。小難でおわって本当によかった。

日本画『曼珠沙華』寄贈

(平成六年四月)

片岡幸子様より、自作の日本画の寄贈を受けました。龍燈会館階段の踊り場壁に掛けさせていただきました。厚くお礼申し上げます。

阿弥陀像一軀寄進

(平成六年五月)

九条駅前で接骨業を営む松浦富夫殿より、当家伝来の阿弥陀像一軀(身丈五十センチ)が、寄贈されました。年代もので、立派なものです。会館二階

慈光堂に安置し、永代にわたって護持して参ります。

## 編集後記

▼カレンダー・学用品の寄贈、有り難うございました。無事に届いたようです。  
▼管長殿下・宗務総長ほか、本山の人事が一新されました。当院執事の山下智玄さんも、本山主事に戻られました。  
▼秋の団体参拝には非ご参加下さい。できれば、本山高僧にお目もじし、法話を頂ければと考えています。

ご案内

### 水 灯 会

8月19日(金)  
午後1時半より  
ご先祖供養です。宗旨に関係ありません  
ご回向のお申込みをお願いします  
法 話 ・ 未 定